

平成30年度

新産業創出

京都産業
エコ・エネルギー
推進機構

フォーラム

テーマ

「エコ・エネルギーで ひらく未来」

～エコ・エネルギー産業の発展で 快適な社会を～

エコ・エネルギー産業の各分野における最前線の研究内容、先端事業を広く紹介し、エコ・エネルギー産業の未来についての展望を示し、会員企業等の交流を促すことで新たな事業と雇用の創出につなげることを目的とします。

特に、今回は、エネルギーの地産地消と地域産業の連携・創出に焦点をあて実施します。

平成30年 11/26 月

第1部(講演) 14:30～17:30
第2部(交流会) 17:45～18:45

会場 **ホテルグランヴィア京都**
古今の間 (京都市下京区烏丸通塩小路下る JR京都駅中央口)

定員 **150名** (先着順)

申し込み **11月20日(火)までにE-mail、当機構ホームページのお申し込みフォーム、またはFAXにてお申し込みください。** ※詳細は裏面をご覧ください。

主催：(一社)京都産業エコ・エネルギー推進機構
京都府、京都市、(公財)京都産業21
京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会

後援：近畿経済産業局、京都労働局、京都商工会議所
(予定) (公社)京都工業会、(公財)関西文化学術研究都市推進機構
(公財)京都高度技術研究所、京都産業育成コンソーシアム



第1部(講演)
参加費
無料

【第1部】講演

▶14:30～14:35
理事長挨拶

▶14:40～15:10【30分】
講演1

「近畿圏におけるエネルギー地産地消の政策的視点」
～エネルギー基本計画と関西スマートエネルギーイニシアティブの取組～
経済産業省 近畿経済産業局総務企画部参事官
<エネルギー・環境ビジネス担当> 大塚 公彦 氏

▶15:15～15:45【30分】
講演2

「地域電力会社運営の現場から」
～エネルギーの地産地消と地域産業創出の視点～
パシフィックパワー株式会社 企画部長 芦刈 義孝 氏

(休憩)

▶15:55～17:30【95分】
講演3 パネルセッション

「自治体PPSの取組と展望」
～各自治体におけるエネルギー地産地消の取組と地域産業連携・創出～
※自治体PPSとは、Power Producer and Supplier 地域新電力会社ともいう。
地域内の経済循環を目指し、収益を地域の課題解決のために還元する。

<テーマ基調講演> 京都大学大学院経済学研究科 地球環境学学
教授 諸富 徹 氏

参加自治体：
鳥取県米子市 経済部経済戦略課産業・雇用戦略室長 鶴籠 博紀 氏
京都府亀岡市 環境市民部長 塩尻 知巳 氏
京都府舞鶴市 副市长 山口 寛士 氏

【第2部】交流会(参加費2,000円)

▶17:45～18:45【60分】
交流会

※第2部のご参加には、お一人様につき2,000円を申し受けます。
当日会場にてお支払いください。

本事業は、京都府が厚生労働省の「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択を受けて、京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制のもとで実施する「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」の一環として実施します。

講演1

近畿圏におけるエネルギー地産地消の政策的視点

～エネルギー基本計画と関西スマートエネルギーイニシアティブの取組～

経済産業省 近畿経済産業局総務企画部参事官(エネルギー・環境ビジネス担当)

大塚 公彦 氏

講演2

地域電力会社運営の現場から

～エネルギーの地産地消と地域産業創出の視点～

パシフィックパワー株式会社 企画部長

芦刈 義孝 氏



【略歴】

1999年 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻修了。1999年 パシフィックコンサルタンツ株式会社入社。環境・エネルギー分野の業務担当、業務責任者を経て2016年からパシフィックコンサルタンツ株式会社100%出資子会社パシフィックパワー株式会社シニアプロジェクトマネージャー(出向)、2018年10月より現職。パシフィックパワー株式会社では、主に自治体新電力会社設立に関与。現在、自治体新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」の他2社の自治体新電力会社の代表取締役を務める一方、小売電気事業以外の新事業として、省エネルギーサービス事業、再生可能エネルギー導入事業に従事。

講演3
パネルセッション

自治体PPSの取組と展望

～各自治体におけるエネルギー地産地消の取組と地域産業連携・創出～

〈テーマ基調講演〉 京都大学大学院経済学研究科 地球環境学堂 教授 諸富 徹 氏



【略歴】

2010年3月から現職。2015年4月より放送大学客員教授、ミシガン大学グロティウス客員研究員(安倍フェロー)を務める。近著に、『電力システム改革と再生可能エネルギー』日本評論社(2015年9月)など。これまでに、内閣府「政府税制調査会」、飯田市「再生可能エネルギー導入支援審査会」等の委員を歴任。

参加自治体

【鳥取県米子市】

米子市の企業5社が中心となって設立した地域新電力会社のローカルエナジーに出資するとともに、分散型電源により発電した電力を地産地消するプラットフォームとして活用されている。

【京都府亀岡市】

平成30年1月、亀岡市と地元企業等との共同出資で、京都府内初の地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」を設立。エネルギーの地産地消による地域振興を目指して取り組んでおられる。

【京都府舞鶴市】

京都舞鶴港等を核としたエネルギークラスターの形成に挑戦。エネルギーの地産地消の推進による地域経済の好循環の創出に取り組んでおられる。

▼▼ FAX送信先 075(323)3841 ▼▼

お申し込みフォーム

会社名	部署		役職
フリガナ			
お名前			
電話番号	()	メールアドレス	@
第2部【交流会】もぜひご参加ください!		第2部【交流会】への参加	<input type="checkbox"/> 参加します ※お一人様2,000円 <input type="checkbox"/> 不参加

★E-mailでもお申し込みを受け付けています。必要事項[①会社名 ②部署 ③役職 ④お名前(フリガナ) ⑤電話番号 ⑥メールアドレス ⑦第2部への参加可否]をメール本文にご記入いただき、center.k-ecoene@k-ecoene.org までお送りください。

※ご記入いただきました個人情報は、本プロジェクトの目的以外には使用いたしません。



★当機構ホームページのお申し込みフォームからも受け付けています。 <http://www.kyoto-eco.jp/event/h30/forum1126.html>